

## 特集

# 地質調査所とは？

21世紀に向けて地質調査所はどうあるべきかが問われています。地質調査所研究評価委員会や所内の議論を踏まえて機構改編の足取りが進みつつあります。

これらの議論における重要な指摘として

- 1) 地質調査の従来の実績一特に地質・資源に関する情報収集における成果は高く評価される。
- 2) 反面、地質調査所そのものの知名度が低く、その成果の社会的還元が不十分である。

広報活動や産業界・学会との連携を深める必要がある。

- 3) 国・社会のニーズに対応し、研究のレベルの維

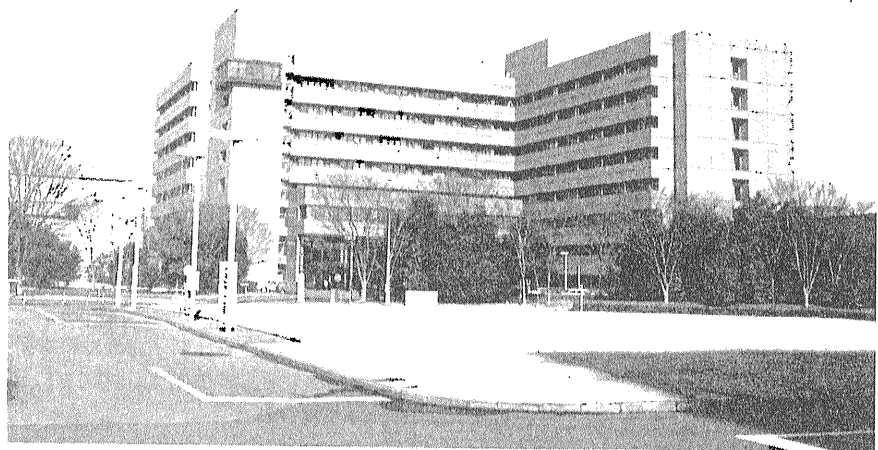
持・向上のため、組織・運営体制に改善すべき点がある。  
などがあげられています。

本特集では、地質調査所の現況を見据え、その将来像を議論するための基礎的情報を提供しようと思ってみました。これは、地質ニュースの持つ役目の1つでもあると思います。要覧としても使えるように工夫し、地質調査所そのものを広く一般に知ってもらう一助となれば幸いです。なお、使用した図表や文章の一部は地質調査所研究評価委員会などに向けた資料から利用させていただいたものです。関係者の方々に謝意を表させていただきます。

(企画室 加藤碩一)



筑波移転前の地質調査所正門（溝の口）



筑波移転後の  
地質調査所正門全景